AIが動く場所（クラウドとデータセンター）

手元の端末で使うAIは、どこで計算しているのだろう

クラウド： データやソフトウェアなどを、インターネットを通じて使うしくみ。遠くのコンピューターと連携して動く



端末やその近くで動くAIもある（エッジ）

すぐに反応したいとき（工場のロボット、自動運転など）に使われる。データセンターとの使い分けもある

考えよう

たくさんの電気を使う

計算と冷やすことに電気を使う。
環境への影響も考える

止まると使えない

通信やデータセンターが止まると、
AIのサービスも使えない

入力した情報は外へ

入力した情報は、外の
コンピューターへ送られる

※ 模式図。データセンターの数は、総務省「令和6年版 情報通信白書」による。